

第 12 回 環境分科委員会 資料

第十二届 环境分科委员会 资料

제 12 회 환경분과위원회 자료

12-дугаар удааны орчин ахуйн салбар
зөвлөлийн хуралын Материал

12 заседание
подкомиссии по экологии АРАССВА.
Материалы.

北東アジア地域自治体連合第 12 回環境分科委員会開催概要

1 開催目的

北東アジア地域自治体連合環境分科委員会の会員自治体を実施している環境保全に係る個別プロジェクトの実施結果や提案状況の報告等の情報交換を行い、今後の北東アジア地域における国際環境協力事業の推進方策について協議するもの。

2 開催日 2015年11月11日(水) 9:30～15:00

3 開催場所 オークスカナルパークホテル富山(富山市牛島町11-1)

4 主催 北東アジア地域自治体連合、富山県

5 参加予定自治体 4か国6自治体

日 本 (1) 富山県

韓 国 (2) 江原道、忠清南道

ロ シ ア (2) 沿海地方、ハバロフスク地方
(オブザーバー)

中 国 (1) 山東省

6 全体日程

11月11日(水)

9:30～15:00 第12回環境分科委員会(場所:オークスカナルパークホテル富山)

18:00～20:00 第12回環境分科委員会歓迎レセプション(場所:オークスカナルパークホテル富山)

11月13日(金)

13:30～17:00 現地活動・エクスカージョン(場所:富山県射水市周辺)

《参 考》

11月12日(木)

9:30～16:30 北東アジア地域の漂着物対策関係者会議(場所:オークスカナルパークホテル富山他)

11月13日(金)

9:30～16:00 海洋生物多様性保全関係機関連絡会議(場所:タワー111 会議室)

北東アジア地域自治体連合第12回環境分科委員会出席者名簿

[来 賓]

所 属	部 局 名	役 職	氏 名
環 境 省	地球環境局国際連携課国際協力室	室 長 補 佐	平 岡 明 子
国連環境計画 北西太平洋地域海行動計画	(地域調整部・富山事務所)	調 整 官	アレクサンダー・トウカーン

[NEAR 事務局, 環境分科委員会会員]

国 名 等	自治体名	部 局 名	役 職	氏 名
NEAR 事務局	—	企画総務課	課 長	パク チャンホ
			係 長	パク ジウン
		国際協力課	統括官(日本担当)	松尾 周一郎
韓 国	江 原 道	緑色局環境政策課	課 長	ムン ナムス
			主 務 官	ユ ヨンミン
	忠 清 南 道	海洋水産局西海岸油類事故支援課	主 務 官	ミン ジュキ
ロ シ ア	沿 海 地 方	天然資源・環境保全部 戦略的発展・投資活動・予算管理課	課 長	タラセンコ Y.G.
	ハバロフスク地方	天然資源省	副 大 臣	バルデユク V.V.
日 本	富 山 県 (コデイト 自治体)	生活環境文化部	部 長	村 椿 晃
		生活環境文化部	次 長	熊 谷 和 哉
		生活環境文化部環境政策課	課 長	杉 田 聡
		生活環境文化部環境保全課	参 事・課 長	藤平蔵 芳光

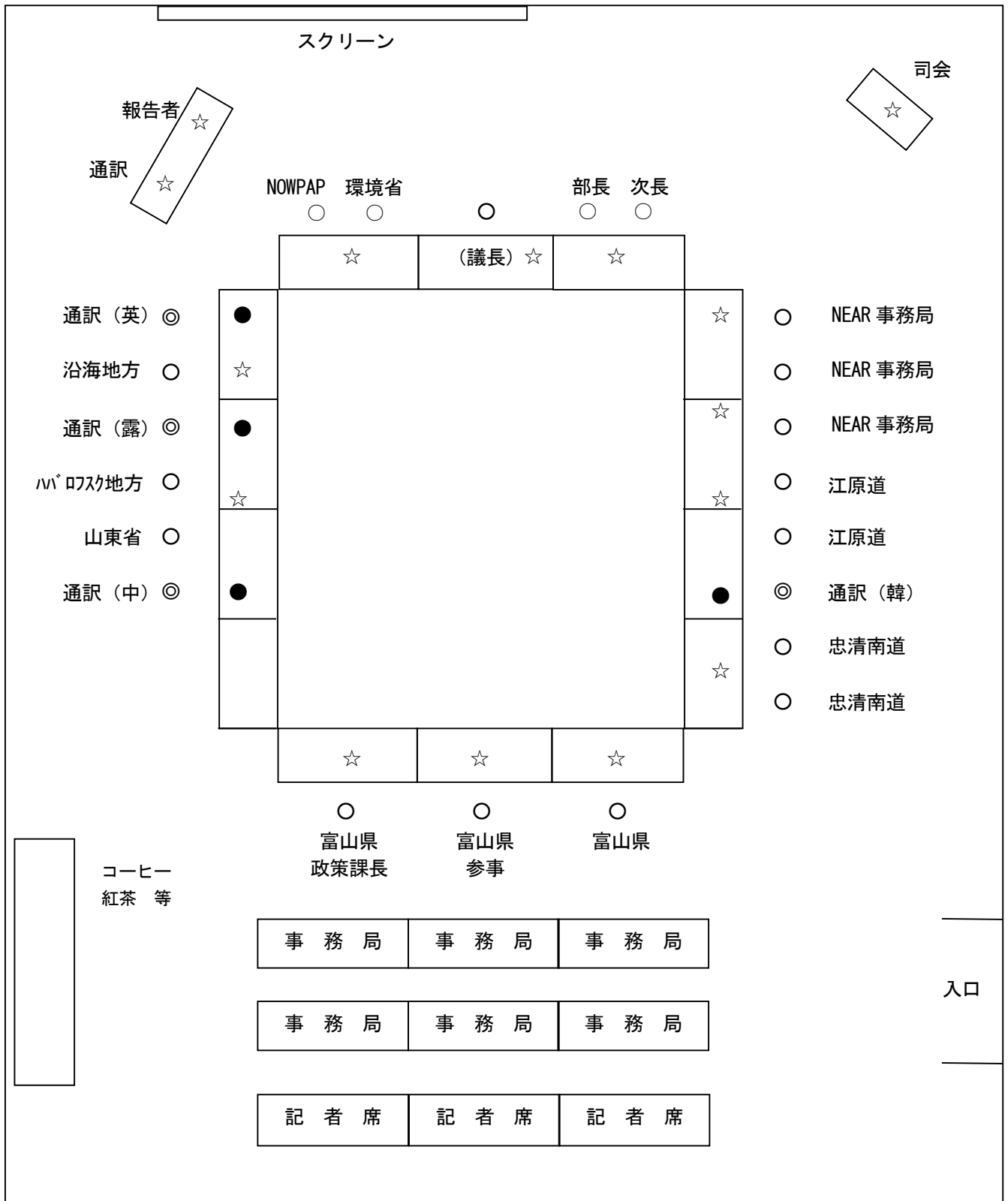
[オブザーバー]

国 名	自治体名	部 局 名	役 職	氏 名
中 国	山 東 省	外事弁公室亜州処	主 任 科 員	韓 迎 華
韓 国	忠 清 南 道	緑の忠南21実践協議会	事 務 所 長	イ ピョンジュ

北東アジア地域自治体連合第12回環境分科委員会 配席図

日時：2015年11月11日（水） 9：30～15：00

場所：オークスカナルパークホテル富山 2F 鳳凰西の間



北東アジア地域自治体連合第12回環境分科委員会

会議プログラム

期日 2015年11月11日(水)

場所 オークスカナルパークホテル富山
2F 鳳凰西の間

9:30	開 会		
9:30	開会あいさつ	村 椿 晃 パク チャンホ	富山県生活環境文化部長 北東アジア地域自治体連合事務局
9:40	来賓あいさつ	平 岡 明 子 アレクサンダー・トゥーカリン	環境省地球環境局国際連携課国際協力室長補佐 国連環境計画北西太平洋地域海行動計画調整官
9:45	議 事	議長 熊 谷 和 哉	富山県生活環境文化部次長
9:45 ～ 9:50	I 次期コーディネート自治体の選出(協議)	杉 田 聡	富山県生活環境文化部環境政策課長
9:50 ～ 9:55	II 報告事項 1 環境分科委員会の活動状況	杉 田 聡	富山県生活環境文化部環境政策課長
9:55 ～ 10:05	2 2015年個別プロジェクトの実施状況及び活動報告 (1) 個別プロジェクトの概要	杉 田 聡	富山県生活環境文化部環境政策課長
10:05 ～ 10:25	(2) 個別プロジェクトの活動報告 ① 北東アジア地域環境体験プログラム	杉 田 聡	富山県生活環境文化部環境政策課長
10:25 ～ 10:45	② 海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	藤平蔵 芳 光	富山県生活環境文化部参事環境保全課長
10:45	休 憩	<10:45～11:00>	
11:00 ～ 11:20	③ 北東アジア地域環境ポスター展	杉 田 聡	富山県生活環境文化部環境政策課長
11:20 ～ 11:35	3 NOWPAPの取組紹介 「NOWPAPの取り組みについて」	アレクサンダー・トゥーカリン	国連環境計画北西太平洋地域海行動計画調整官
11:35	昼 食	<11:35～13:00>	

13:00	Ⅲ 協議事項
13:00 ～ 13:10	1 2016年個別プロジェクトの提案状況 (1) 2016年個別プロジェクトの提案調査結果 杉田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長
13:10 ～ 13:30	(2) 2016年提案個別プロジェクトの説明 ① 北東アジア地域環境体験プログラム タラセンコ Y.G. 沿海地方 天然資源・環境保全部 環境計画・放射線安全課長
13:30 ～ 13:50	② 海辺の漂着物調査と漂着物アート制作 藤平蔵 芳 光 富山県生活環境文化部参事・環境保全課長
13:50 ～ 14:10	③ 北東アジア地域環境ポスター展 ムン ナムス 江原道緑色局環境課長
14:10 ～ 14:30	④ 海岸生物調査 杉田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長
14:30 ～ 14:45	2 環境分科委員会の活動計画 杉田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長
14:45	閉 会

I 次期コーディネート自治体の選出（協議）

次期コーディネート自治体の選出

杉 田 聡

富山県生活環境文化部環境政策課長

1 次期コーディネート自治体の希望調査の実施

- (1) 実施時期 2015年2月
- (2) 調査自治体 全会員自治体（22自治体）

2 回答結果

希望自治体 1自治体（富山県）

II 報告事項

1 環境分科委員会の活動状況

杉 田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長

1 環境分科委員会の報告資料の作成

- (1) 作成日 2015年3月
- (2) 送付先 北東アジア地域自治体連合会員自治体等
※ 環境委員会の活動をホームページに掲載 http://www.npec.or.jp/northeast_asia/
- (3) 資料の内容

ア 2014年個別プロジェクトの実施状況

4つの個別プロジェクトの実施状況についての報告

No.	プロジェクト名	提案自治体
1	北東アジア地域環境体験プログラム	遼寧省 富山県
2	第8回国際環境フォーラム	沿海地方
3	海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	富山県
4	北東アジア地域環境ポスター展	ハバロフスク地方

イ 2015年個別プロジェクトの提案状況

3つの個別プロジェクトの提案状況についての報告

No.	プロジェクト名	提案自治体
1	北東アジア地域環境体験プログラム	富山県
2	海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	富山県
3	北東アジア地域環境ポスター展	富山県

ウ 環境分科委員会の活動計画

環境分科委員会の今後の活動計画についての提示

2 個別プロジェクトに関する調査の実施

- (1) 2015年個別プロジェクトの実施状況調査の実施 (2015年9月)
- (2) 2016年個別プロジェクトの提案調査の実施 (2015年9月)
- (3) 2016年個別プロジェクトの参加意向調査の実施 (2015年12月(予定))

Ⅱ 報告事項

2 個別プロジェクトの実施状況及び活動報告

(1) 個別プロジェクトの概要

杉 田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長

1 2015年提案個別プロジェクト

(1) 提案プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
1	北東アジア地域環境体験プログラム	富山県
2	海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	富山県
3	北東アジア地域環境ポスター展	富山県

(2) 参加意向調査結果 (◎：提案自治体 ○：参加意向自治体)

自治体名		プロジェクトNo.	1	2	3
日本	青森県		—	—	—
	山形県		○	○	—
	新潟県		—	—	—
	富山県		◎	◎	◎
	石川県		—	○	—
	福井県		—	○	—
	京都府		—	○	—
	兵庫県		—	—	—
	鳥取県		—	○	○
	島根県		—	○	—
	山口県		—	○	—
	佐賀県		—	○	—
	長崎県		—	○	—
中国	遼寧省		○	—	—
	黒龍江省		○	—	○
	河北省(秦皇島市)		—	—	—
韓国	江原道		○	○	○
	忠清南道		○	○	○
	慶尚南道		○	○	○
ロシア	アムール州		—	—	—
	ブリヤート共和国		—	—	—
	イルクーツク州		—	—	—
	ハバロフスク地方		○	○	○
	沿海地方		○	○	○
	サハ共和国		—	—	—
	サハリン州		—	—	—
ザバイカリエ地方		—	—	—	
蒙古	中央県		—	—	—
	セレンゲ県		—	—	—
参加意向自治体数			4か国 9自治体	3か国 15自治体	4か国 8自治体

II 報告事項

2 個別プロジェクトの実施状況及び活動報告

(2) 個別プロジェクトの活動報告

① 北東アジア地域環境体験プログラム

杉 田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長

1 目的

北東アジア地域の青少年に対して北東アジア地域における海洋環境の現状環境や保全活動を直に体験する機会を提供し、国際交流を通じて、自ら考えて行動できる人材を育成する。

2 事業内容

(1) 実施時期 2015年8月19～20日

(2) 実施場所 日本国富山県 魚津市 金太郎温泉ほか

(3) 実施方法

ア テーマ：「海洋環境保全 ～豊かな海づくりに向けて～」

イ 活動内容：

- ・環境体験：海岸漂着物調査体験及び清掃活動、漂着物クラフト制作、魚津水族館視察
- ・活動報告：各参加自治体からの日頃の活動報告
- ・その他：参加者一同による「2015 富山環境宣言文」の採択



海岸漂着物調査体験



環境保全の活動報告

ウ 参加自治体 遼寧省、黒龍江省、江原道、忠清南道、慶尚南道、
ハバロフスク地方、沿海地方、山形県、富山県

エ 参加者数 4か国9自治体の中高校生等及びその指導者88名

オ 年間計画 5月 参加者募集

8月 体験プログラム実施

カ その他

実施状況の詳細は、下記、ホームページに掲載予定

(http://www.npec.or.jp/northeast_asia/youth/index.html)

II 報告事項

2 個別プロジェクトの実施状況及び活動報告

(2) 個別プロジェクトの活動報告

② 海辺の漂着物調査と漂着物アート制作

藤平 蔵 芳 光

富山県生活環境文化部参事・環境保全課長

1 目的

- ・ 人工物による海辺の汚染実態を継続的に把握することにより、海洋環境保全対策、廃棄物対策等を推進するための基礎資料とすること。
- ・ 海岸漂着物を利用したアート作品の制作などを通して、子供たちが海岸漂着物の実態や海洋環境保全について学習し、その発生源となるごみを出さないための行動を自ら実践していくきっかけとすること。
- ・ 地域住民の調査への参加及びアート作品の制作体験を通して「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心を育む」という共通意識を醸成し、環境教育を推進すること。

2 事業内容（実施状況）

(1) 海辺の漂着物調査

ア 実施時期：2015 年秋季

イ 実施場所：各参加自治体の海岸

ウ 実施方法

- 調査主体 各参加自治体が小学生、中学生、高校生及び民間団体の協力を得て実施
- 調査回数 各地点ごとに年 1 回
- 調査方法
 - ・ 海水浴場等に、波打ち際から陸地方向へ連続的に 3 区画程度の調査区画（1 区画 10m×10m）を設定する。
 - ・ 設定した調査区画内の漂着物を全て拾い集め、種類別に分類し、個数及び重量を測定する。
 - ・ 海岸漂着物などに関する海洋環境保全学習を併せて実施するよう努める。

○ 調査結果

各参加自治体から本県に提出された調査結果は、（公財）環日本海環境協力センターがとりまとめを行い、報告書等を作成する。

④ 参加自治体

富山県、山形県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、佐賀県、長崎県、江原道、慶尚南道、沿海地方、ハバロフスク地方



富山県における実施状況

(2) 漂着物アート制作

ア 実施時期：通年

イ 実施場所：各参加自治体内の会場等

ウ 実施方法

各参加自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加、協力を得て漂着物アート制作体験会等を実施

エ 参加自治体

富山県、ハバロフスク地方、沿海地方（予定）

（参考 2014 年度参加自治体：富山県、山形県、福井県、島根県、沿海地方）



ハバロフスク地方における漂着物アート制作

II 報告事項

2 個別プロジェクトの実施状況及び活動報告

(2) 個別プロジェクトの活動報告

③ 北東アジア地域環境ポスター展

杉 田 聡

富山県生活環境文化部環境政策課長

1 目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を展示することにより、市民の北東アジア地域の環境保全意識を一層深める機会とする。

2 事業内容

(1) 実施時期 2015年10月～11月

(2) 実施場所 日本国富山県（とやま環境フェア2015会場、富山市エコタウン交流推進センター）

(3) 実施方法

ア 参加自治体

富山県、黒龍江省、江原道、忠清南道、慶尚南道、沿海地方、ハバロフスク地方

イ 展示ポスター数

64枚

ウ 年間計画

6月 参加自治体へ作品送付依頼

7月 （各自治体で環境ポスターの作品募集、審査）

7月～9月 参加自治体から作品送付

10月～11月 環境ポスター展開催

11月～ 参加自治体へ作品返却

ポスター展の開催結果や作品をホームページに掲載



(4) その他

実施状況の詳細は、下記のホームページに掲載予定

(http://www.npec.or.jp/northeast_asia/)

NOWPAP（北西太平洋地域海行動計画）についての概要紹介

アレクサンダー・トゥカーリン（NOWPAP 調整官）

NOWPAP（北西太平洋地域海行動計画）は、国連環境計画地域海行動計画の1つとして1994年に採択されました。メンバー国は中国、日本、韓国、ロシアの4カ国です。このメンバー国が持ち回りで開催国となり、NOWPAPの意思決定機関である政府間会合（IGM）が年一回開催されます。IGMには各メンバー国の代表（ナショナルフォーカルポイント：NFL）が出席しますが、通常、各国の外務省または環境省の職員がNFLを務めます。NOWPAP活動のほとんどは、各メンバー国に設置された4つの地域活動センター（RACs）が実行しています。日常業務については、富山市（日本）と釜山市（韓国）にある地域調整部（RCU）が担当しています。

NOWPAPは、北西太平洋地域の持続可能な開発を目的としています。1994年にメンバー国が5つの優先的活動分野を決定し、その後2005年には、RACsが取り組む新しい活動を承認しました。2012年には、RACs及びRCUの活動指針となる2012-2017年度NOWPAP中期戦略が採択されました。

設立から20年が経過したNOWPAPのこれまでの成果の一部をご紹介します。

- メンバー国が地域の海洋環境問題に取り組む政府間メカニズムを策定し、海洋環境の質の向上・改善に取り組んでいます。この地域の類似したメカニズムにEANET（酸性雨モニタリングに取り組む）やNEASPEC（大気汚染及び生物多様性に取り組む）があります。
- 活動を実行するための持続性のある枠組みを整えました。
IGM+NOWPAP 信託基金(活動の財源)+RACs 及び専門家ネットワーク+RCUです。
NOWPAPは、実行期間が限定しているYSLME（黄海大生態系プロジェクト）とは違い、長期的な政府間メカニズムです。
- 不要な重複活動を避け、また相互に利益となるように、PEMSEA（東アジア海域環境管理パートナーシップ）、PICES（北太平洋海洋科学機関）、IOC/WESTPAC（政府間海洋学委員会/西太平洋海域共同調査）、YSLME（黄海大生態系プロジェクト）等の他のプログラム・機関と緊密にパートナーシップを結んでいます。
- 2つの地域調整部を設置し、全世界的なプロジェクトを実行する地域の中核機関として活動することで、北西太平洋地域での国連の存在意義を高めました。
- 海洋ゴミや有害藻類、油流出事故、汚染物質の河川経由の流入、生物多様性等、北西太平洋地域の海洋環境問題に対する国・地方自治体や一般市民の意識を向上しました。
- 衛星データの利用や有害藻類対策、油・危険物質の流出対応、データ・情報の共有等に関して、海洋環境問題に取り組むNOWPAPメンバー国の専門家の能力が向上しました。
- 海洋ゴミ、油・危険物質の流出、富栄養化、有害藻類等に取り組むためのガイドラインや地域協定を開発しました。（地域協定については、メンバー国が採択しました）

NOWPAPは、2012-2017年度NOWPAP中期戦略を基に、今後も海洋環境アセスメントや沿岸・河川域統合管理、汚染物質の発生防止及び削減、生物多様性の保護等、北西太平洋地域の重要な海洋環境問題に取り組んでいきます。また、PEMSEAやYSLME、COBSEA（東アジア海洋調整機関）、PICES、IOC/WESTPAC等とも緊密に連携し活動を実行していきます。

Ⅲ 協議事項

1 2016年個別プロジェクトの提案状況

(1) 2016年個別プロジェクトの提案調査結果

杉田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長

2016年提案個別プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
1	北東アジア地域環境体験プログラム	沿海地方 富山県
2	海辺の漂着物調査と漂着物アート制作	富山県
3	北東アジア地域環境ポスター展	江原道
4	海岸生物調査	富山県 沿海地方

Ⅲ 協議事項

1 2016年個別プロジェクトの提案状況

(2) 2016年提案個別プロジェクトの説明

① 北東アジア地域環境体験プログラム

タラセンコ Y. G.

ロシア沿海地方天然資源・環境保全部
戦略的発展・投資活動・予算管理課長

1 目的

自治体・経済界・学界が連携し、青少年に対して北東アジア地域における環境問題を直に体験（環境ボランティア活動）する機会を提供することにより、現状への認識を高めるとともに、国際環境協力に対する理解を深め、自ら行動できる人材を育成することを目的とする。

2 事業内容

(1) 実施時期 2016年8月頃

(2) 実施場所 ロシア沿海地方（予定）

(3) 実施方法等

1年ごとに各自治体が持ち回りで開催

開催自治体が毎年テーマを選定し、実施

今年度の体験プログラムを第10回国際環境フォーラム「国境のない自然」の枠組みで開催する予定

(4) 年間計画

2016年5月頃 参加者募集

2016年8月 北東アジア地域環境体験プログラム実施

(5) 期待される成果

- ・ 北東アジア地域の環境問題に対する理解や共通認識が深まるとともに、環境保全活動への参加意欲の向上が期待できる。また、ともに取り組んでいくといった連帯感が生まれ、国際的なネットワークの構築につながる。
- ・ 環境問題解決に主体的に参画し、提案できる人材の育成が期待できる。

3 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容

開催自治体 ・ テーマの企画、参加者の募集、ワークショップ等の開催

・ 地元の経済界や学界への協力要請

参加自治体 ・ 参加者の募集・派遣

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の概要

・ 開催自治体への渡航費は参加自治体が負担する。

・ 現地滞在費及びワークショップ等の開催費用については、開催自治体が負担する。

(3) 参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員ほか

Ⅲ 協議事項

1 2016年個別プロジェクトの提案状況

(2) 2016年提案個別プロジェクトの説明

② 海辺の漂着物調査と漂着物アート制作

藤平 蔵 芳 光 富山県生活環境文化部参事・環境保全課長

1 目的

- ・ 人工物による海辺の汚染実態を継続的に把握することにより、海洋環境保全対策、廃棄物対策等を推進するための基礎資料とすること。
- ・ 海岸漂着物を利用したアート作品の制作などを通して、子供たちが海岸漂着物の実態や海洋環境保全について学習し、その発生源となるごみを出さないための行動を自ら実践していくきっかけとすること。
- ・ 地域住民の調査への参加及びアート作品の制作体験を通して「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心を育む」という共通意識を醸成し、環境教育を推進すること。

2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査や海洋環境保全学習を行う。また、可能な自治体においては、漂着物を利用したアート作品の制作を行う。

(1) 海辺の漂着物調査

ア 実施時期： 2016年秋季

イ 実施場所： 参加自治体の沿岸地域

ウ 実施方法： 調査は各参加自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て実施

(2) 漂着物アート制作

ア 実施時期： 通年

イ 実施場所： 各参加自治体内の会場等

ウ 実施方法： 富山県が提供する手引書等も参考にして、各参加自治体が地元の実状に応じて、学生、住民等の参加を得て実施

3 期待される成果

- ・ プラスチック等の人工物による海辺の汚染実態の継続的把握
- ・ 「ごみを捨てない心、海洋環境を守ろうとする心を育む」という住民の環境保全に対する意識の高揚

4 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容：

ア 海辺の漂着物調査

- ・ 調査海岸の選定
- ・ 調査を実施する民間団体等の確保
- ・ 調査を実施する民間団体等の指導、調査の実施
- ・ 調査結果の本県への報告

イ 漂着物アート制作

- ・ 活動の企画、関係者との調整、参加者の募集等
- ・ 漂着物等の素材、活動に使用する道具等の準備
- ・ 住民等の参加による活動の実施、結果のまとめと報告

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の概要

① 海辺の漂着物調査

必要な経費は参加自治体による負担とする。

ただし、巻尺、ピンセット、はかりなど調査に必要な機材の購入代や、移動に伴うガソリン代、写真現像代などの経費の一部を、富山県が予算の範囲内で負担する予定。

② 漂着物アート制作

必要な経費は参加自治体による負担とする。

ただし、参加者の保険料や移動に要する交通費（バス等）、制作で使用する道具・材料費、会場費などのアート作品の制作に必要な費用及び講師等の派遣費用については、富山県が予算の範囲内で負担する予定。

(3) 参加要請自治体

一部の連合会員（連合会員のうち内陸部の自治体を除く。）

ただし、海辺の漂着物調査については、連合会員以外の北東アジア地域の沿岸自治体にも広く参加を呼びかけている。

日 本：北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、
鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

中 国：遼寧省、河北省、山東省、江蘇省

韓 国：江原道、忠清南道、慶尚南道

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州



<海岸での漂着物の調査>



<海洋ごみに関する学習>



<漂着物アートの製作>



<作品の展示>

富山県における漂着物アート制作の進め方

Ⅲ 協議事項

1 2016年個別プロジェクトの提案状況

(2) 2016年提案個別プロジェクトの説明

③ 北東アジア地域環境ポスター展

ムン ナムス

韓国江原道緑色局環境課長

1 目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を展示することにより、市民の北東アジア地域の環境保全意識を一層深める機会とする。

2 事業内容

(1) 実施時期

2016年10月

(2) 実施場所

江原道

(3) 実施方法

- ・各参加自治体内で子どもたち（小中学生を対象）から作品募集、審査
- ・各参加自治体が優秀作品を開催自治体に送付
- ・開催自治体で各参加自治体の作品展示、普及啓発を実施

(4) 年間計画

4月～7月 参加自治体との連絡調整、作品募集、送付

10月 環境ポスター展の開催

1～3月 作品返送

(5) 期待される成果

北東アジア地域の環境問題に対する理解や共通認識が深まる。

3 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請内容

ア 開催自治体

- ・参加自治体への開催通知、優秀作品の送付依頼
- ・開催自治体内で作品募集、審査
- ・参加自治体から送付された作品でポスター展を開催、普及啓発の実施
- ・作品を参加自治体に返却

イ 参加自治体

- ・参加自治体内で作品募集、審査
- ・優秀作品（タイトル、作者のメッセージ等とあわせて）を開催自治体に送付

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の概要

- ・ポスター展の開催や普及啓発等の費用は、開催自治体が負担する。
- ・参加自治体から開催自治体への作品の送料は、参加自治体が負担する。
- ・開催自治体から参加自治体への作品の返送の費用は、開催自治体が負担する。

(3) 参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員ほか

Ⅲ 協議事項

- 1 2016年個別プロジェクトの提案状況
- (2) 2016年提案個別プロジェクトの説明
- ④ 海岸生物調査

杉 田 聡 富山県生活環境文化部環境政策課長

1 目的

北東アジア地域の海洋生物多様性の保全に向けて、各地域に生息する生物に関する情報の収集、指標生物の生息調査を実施する。本調査を通じて、一般市民・子供たちの海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図る。

2 事業内容

- (1) 実施時期：年1回程度
- (2) 実施場所：参加自治体の海岸（多くの生物が生息する岩場や磯場が望ましい）
- (3) 実施方法等：
 - ・ 海の生物に関する知識を有する調査機関、NGO/NPO や専門家が主体となり、一般市民の参加のもと、海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録
 - ・ 地球温暖化や外来生物に係る指標生物の存在有無の確認
 - ・ 調査結果は、（公財）環日本海環境協力センターが取りまとめ、ウェブサイトを通じて情報発信
 - ・ 日本海生物多様性関係機関連絡会議が調査の実施方法を取りまとめたマニュアルを作成し、参加自治体と共有（各国語版を作成予定）
- (4) 年間計画：
 - 6～7月 参加者の募集
 - 7～8月 調査の実施
 - 11月頃 連絡会議を開催し、各機関からの結果報告
- (5) 期待される成果
 - ・ 海岸に生息する海洋生物の北東アジア地域での分布状況の把握
 - ・ 指標生物の生息範囲の把握
 - ・ 海洋生物多様性、海洋環境の保全に対する意識の高揚

3 参加自治体への協力要請事項

- (1) 協力要請の内容
 - ・ 本調査を実施する調査機関、NGO/NPO もしくは専門家の選定
 - ・ 調査機関との調査実施、結果報告に関する連絡調整
- (2) 経費負担の要請
 - ア 経費負担の有無：無し（経費の掛からない範囲で実施）
 - イ 経費負担の概要
- (3) 参加要請自治体
 - 全ての北東アジア地域自治体連合参加自治体

Ⅲ 協議事項

2 環境分科委員会の活動計画

杉 田 聡

富山県生活環境文化部環境政策課長

環境分科委員会の活動計画（案）

年 月	内 容
2015年9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> 2015年個別プロジェクト実施状況及び2016年提案個別プロジェクトの調査コーディネート自治体が、個別プロジェクトの実施状況調査を行った。併せて、2016年に実施予定の個別プロジェクトの提案調査を行った。 2016年提案個別プロジェクトの取りまとめ コーディネート自治体が、提案のあった2016年個別プロジェクトを取りまとめた。
11月	<ul style="list-style-type: none"> 第12回 環境分科委員会開催（2015年11月11日） 2016年提案個別プロジェクトの参加要請 環境分科委員会において提案自治体が参加自治体に対してプロジェクトの内容を説明し、参加を要請する。
12月	<ul style="list-style-type: none"> 2016年個別プロジェクトへの参加意向調査 コーディネート自治体が、北東アジア地域自治体連合の会員自治体に個別プロジェクトへの参加意向調査を行う。
2016年1月	<ul style="list-style-type: none"> 2016年個別プロジェクト参加意向調査結果の取りまとめ コーディネート自治体が、参加意向調査結果を取りまとめ、2016年個別プロジェクトの提案自治体へ送付する。
(適宜実施)	<ul style="list-style-type: none"> 提案自治体と参加意向自治体が個別プロジェクトの実施に向けて協議する。 合意があった場合、適宜個別プロジェクトを実施する。
2016年8月頃	<ul style="list-style-type: none"> 2016年個別プロジェクト実施状況及び2017年提案個別プロジェクトの調査 コーディネート自治体が、個別プロジェクトの実施状況調査を行う。併せて、2017年に実施予定の個別プロジェクトの提案調査を行う。
2017年3月頃	<ul style="list-style-type: none"> 報告資料の作成（※環境分科委員会は隔年開催）